# ハムの目

## 議決無しでPLC賛成を決めていいのか?

JA1ELY　草野利一

先月号でお伝えした通り、筆者は高速電力線搬送通信(PLC)の導入のための無線設備省令改正案に対する利害関係者として、8月23日総務省で行われた意見聴取に出席、反対意見を述べ、行政側との質疑を行いました。その内容については本号10ページをご覧ください。

ハムフェアの前日午後遅くに、意見許可の通知と全意見者の準備書面コピーが届きました。その中にJARLの準備書面があり、「原案に賛成する」という字句を見たときは絶句しました。他に賛成しているのはPLC推進の臨時業界団体であるPLC-Jのみです。これでは後世、我々が後押ししてPLC導入を行ったと見られてしまうでしょう。世界のハム達にも申し訳が立ちません。

直ちにJARLは会員の意思に反する意見を出したということを示す為の署名活動を決意しました。署名用紙を印刷すると共に、e-mailが利用できる読者の皆様にお知らせし、さらに「PLCノイズゼロを求める会」として活動して頂いたJA7AO、JA7IC、JA6WFM各局にお願いして署名呼びかけをインターネットに出して貰いました。

その結果、3日間FAXが署名用紙を吐き続け、総計で2000枚近くになり、意見陳述日には整理が間に合わず一部を持参し、残りは翌日提出ということで承諾を得ることが出来ました。この署名簿により、アマチュア無線側はこぞって賛成しているものではないことを電波監理審議委員にお知らせすることが出来ました。正に間一髪の所でした。

それにしてもPLC案件はJARLが長年最重点課題として反対運動に取り組んできたものであり、会長は総会はじめ様々な地域大会で反対を明言し、役員選挙では反対を公約する候補者が当選しています。それゆえ会員に限らず日本のハムはJARLに全幅の信頼を置いてきたのです。それなのに最終段階でJARLが突然積極賛成に転じたことは全く理解できません。

そこで筆者はJARLの全ての理事、監事宛に「PLC賛成は正式に議案として上程され議決されたのか」という質問状をSASE同封で発送しましたが、驚いたことに誰一人からも回答はありませんでした。こんな簡単なことが回答できないということは、社団法人の定款に定められている正式な手続きによる議決は無かったと断ぜざるを得ません。

又、巣鴨の連盟事務局に出向き社団法人に義務付けられている書類の閲覧を申し出ましたが、業務報告書、議事録、協議事項書いずれも閲覧を拒否されたのです。JARLが社団法人というものをどのように理解しているのか容易に想像できようというものです。

いずれにしても何の説明も正式な議決も無く、突然決められたPLC賛成という衝撃の結果責任はとって貰わなければなりません。

FIVE NINE FIVE NINE FIVE NINE FIVE NINE FIVE NINE ・も・く・じ・ FIVE NINE FIVE NINE FIVE NINE FIVE NINE FIVE NINE

〔ハムの目〕"議事議決無しで PLC賛成を決めていいのか?" ……1 JA1ELY 草野利一
〔Eyeball QSOs in ハムフェア 2006〕……2 JS1DLC 荒川謙一郎
〔KH8SI スウェインズ島への旅〕……4 K8YSE John Papay
〔6メーター北米へ・Es囁きの回廊伝搬〕……6 TZ6JA 小原 実
〔PLC 電波審議会の意見陳述報告〕……10 JA1ELY 草野利一
〔バンドコラム〕
160mコラム ……JA4LXY 藤田富男……26
80/75mコラム ……JA3MHV 西川 久……27
40mコラム ……JGφTCL 大森道雄……28
30/17/12mコラム……JA4DND 松浦博美……29
20mコラム ……JA7ZP 舟木秋雄……30
15mコラム ……JR1NHD 田中 真……31
10mコラム ……JG2TKH 森 亮……32
〔RTTY〕……JA2GAD 水野盛明……33
〔コンテストレビュー〕JP1JFG 今野 修……34
〔各種コンテスト結果〕……37